

自己評価結果公表シート（令和3年度）

学校法人 明和学園 明和幼稚園

1. 本園の教育目標

明るく、正しく、和やかな人間形成を目指し、自立の精神を以て何事にも丁寧に経験していくことを方針としている。楽しいこと、悲しいこと、しんどい事。それらの一つひとつを「ていねいに、ていねいに」経験を積み重ね、一人ひとりの個性を大切に、いきいきとした子どもを育む。

満3歳児…少人数のクラスで、1人ひとりの子どもの発見や気づきを共感し、豊かな経験を積み重ねる。

年少組…4人の担任で、子ども達が安心して集団生活をいつもニコニコ笑顔で過ごせるように、
子ども達それぞれの個性や感性を大切に育む。

年中組…自分と相手（友達）の存在を大切に、皆と力を合わせることで、満足感や充実感を得ていく。

年長組…自分で考え、活動を見出す年長組。様々な経験を通して自立を促す。
周りへの思いやりや理解を育む。

2. 本年度、重点的に取り組む目標。及び取り組み結果

子どもの心身の健やかな成長の為に、前年度の反省を生かしながら

- ・指導計画を見直し改善していく。
- ・職員の共通理解を深めるとともに《れんらくアプリ》により業務効率の向上を図る。
- ・コロナ禍で保育参観が難しいため、《おうちえん》で子ども達の園での様子を動画や写真で配信。園と家庭とのさらなる連携強化を図った。
- ・新型コロナウイルスの情報を集め、子どもの安全を保障するための方策を講じる。

通用門では来園者への手指消毒、園内の消毒作業、清掃作業を1日3回（保育前・日中・保育後）行い感染症対策の強化を行った。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画	過去の指導案の見直しや話し合いによって、子どもの発達や季節に応じた年間計画、月案、週案を作成・確認し、保育に取り組んでいる。 手書きで作成していた文書や指導案は順にデータで作成をしている。 指導案は細かく準備物やタイムスケジュールを考え、よりスムーズに保育が行えるよう作成した。内容を共有し、役割分担を明確にして、保育を進めている。

	特に保育内容によって効率的に保育室・ホールを使用できるよう時間割を設定し、共有アプリを使って管理している。
職員の共通理解	毎朝の朝礼や保育終了後の話し合いを実施することにより、保育目標を確認するとともに、園児の状況を伝え合うことで、園児一人ひとりの現在の様子を全員が把握するよう努めている。また、「れんらくアプリ」により業務効率の向上に努めている。
家庭との連携	おうちえんを利用し、保育の様子を写真や動画で配信。各クラスの取り組みや園での行事をご覧いただくことで、家庭と園との繋がりに努めた。 個人懇談会では、保護者から園児の家庭での様子を聞き、園でのエピソードを通じて、保育方針の説明や協力をお願いする。 毎月のクラス委員さんとの話し合いで情報交換をしながら、保護者のニーズを聞き、改善するよう努めている。
安全管理	防災指導計画に沿って、安全教育や避難訓練を実施し、子どもの安全意識の向上に努めている。 登降園時には、必ず職員が通用門と駐輪場に立ち、園児、保護者の安全に気を配っている。 防犯カメラを3台設置し、園児の安全を確保しているほか、日頃から園内の安全点検をして、園児が怪我をしないように（危険の排除、怪我をした際の記録・原因究明・再発防止策）を講じている。 父母の会より防犯グッズの寄贈を受け、より一層の策を講じる事ができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での変則的な保育、行事ではあったが、定期的な会議での話し合いで効率的に行事の準備をし、日々の保育の振り返りをして、共通理解を深め、保育内容の更なる向上に努めた。 ・各行事は、感染症対策、安全対策をしながら、楽しい時間を過ごせるように努めた。保護者からは、時間・空間を空けたことにより、ゆっくりと過ごせた、との意見もきかれた。 ・運動会や発表会では、園児のダンスや合奏などを保護者へ披露するとともに、担任が実際のエピソードを伝え、協力要請することによって、保育方針への理解を深め、ボランティアなどにも積極的に協力してもらえた。 ・定期的な避難訓練をしているので、「おはしもちの約束」（おさない、走らない、しゃべらない、戻らない、近づかない）を覚えて、しっかり言えるようになっている。
--

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員の共通理解	コロナ禍での変則的な状況もあり、残業が多くなってしまった。 会議の内容を見直し、今後は早朝会議と隔週1回の会議を続け、

	職員全員の共通理解を深めながら、LINEやGoogleドキュメントを使い、会議の時間や準備にかかる負担軽減を図る。
家庭との連携強化とニーズの把握	教育方針に関して入園の際にお伝えのままになっているので、保護者会や毎月の園だより（明和だより）、れんらくアプリ、ホームページなどで、保育内容や教育方針について、わかりやすく伝えていく。また保育参観がコロナ禍で出来ない事から、子どもの日々の様子を積極的に伝えたり、聞いたりしながら、家庭との連携強化に努めていきたい。クラス委員の方を通して保護者のニーズや満足度を把握し、保育や行事の内容を考える際の検討材料にしていく。
安全管理	定期的な避難訓練を今後も継続実施し、更なる防災意識の向上を図るとともに研修を行い、防災用品の点検、補充など、安全対策を図っていく。 また、子ども達の主体性を育む、自立に向けた保育環境を作るために、声掛けの仕方や教員の配置を話し合い、指導していく。

6. 学校関係者の評価

職員が真摯に自己点検・評価に取り組んでいる様子が伺える。今後も保護者との連携と情報交換を密にしながら、安心安全で子どもが楽しく取り組める保育を実践できるように、努力を続けてほしい。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。